

⚠ 遮断ルーフGr 取扱注意事項

- 断熱材の製法上、断熱材周囲のクラフト紙部分に背割り・シワが入りますが、性能上支障はありません。
- 紫外線により物性の低下劣化することがあります。納品後は、シート等で養生をして、水分の接する場所や直射日光を避けるように保管してください。また、ロープ掛け等により飛散防止処置を行ってください。
- 鋭角な器物との衝突や角当ては、損傷の原因になりますので避けてください。
- プラスチック系断熱材を使用していますので、輸送・保管・施工の際は火気には十分に注意してください。
- 安全使用温度範囲は-80℃～100℃となっておりますが、常時高温で使用了場合は物性の低下をきたします。
- 防音効果はございませんので、雨音などに十分に配慮して施工してください。
- 別売りの一液型発泡ウレタンは、缶に記載の取扱い注意事項を守ってお使い下さい。

⚠ 遮断ルーフGr 作業時の注意事項

- 遮熱層は日射の照り返しが強いので、サングラス等の保護眼鏡をしてください。
- 遮熱層面は滑りやすいので、作業には十分注意してください。また、雨、雪等の悪天候時は安全に配慮してください。
- 局所加重や衝撃などにより割れることがありますので、施工時には下地のない場所には乗らず、根太やたるきの上を歩いてください。
- 安全関連の法令を遵守して作業してください。
- 切断時には粉塵が発生することがありますので、粉塵吸引装置を設けるなどの適切な処置をし、作業者は正規の作業服を着用の上、防塵マスク、防護眼鏡等を使用して作業してください。
- 狭い場所での切断作業を行う場合は、十分に換気を行い粉塵量を低下させてください。
- 残材や廃材は、直ちにポリ袋等に入れて密封し、産業廃棄物として関係法令に基づき適切に処理してください。
- 照明器具等の熱を発生させる器具等の周囲に遮断ルーフを施工する場合は、100mm以上の適切な距離を設けてください。

上記の注意事項は、通常の取り扱いを対象にしたものです。特殊な取り扱いをされる場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。また、記載内容は現時点の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

⚠ 遮断ルーフGr 免責事項

- 本説明書に記載した取扱注意事項が行われず発生した不具合
- 設計者、施工者等使用者の指示した仕様・施工方法に起因する不具合
- 設計者、施工者等使用者から支給された材料・部品に起因する不具合
- 施工者による施工、取り扱いに起因する不具合
- 建物の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突等、弊社製品以外の外的要因により発生した不具合
- 使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- 引き渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、これに起因する不具合
- 開発、製造、販売時に通常予想される環境等の条件下以外における使用・保管・輸送等に起因する不具合
- 地震・台風等の天災、火災等の特殊要因が原因により発生した不具合